

ア 天地鬼神(天地鬼神)と天地誠敬信(天地誠敬信)

Cheonji-Gwisin and Cheonji-Seonggyeongsin

~~目次~~

- ① 序論
- ② 東学思想の天地鬼神
- ③ 大巡思想の天地誠敬信
- ④ 二つの思想の比較分析
- ⑤ 誠敬信概念の差異
- ⑥ 結論

序論

本発表では、天地鬼神(天地鬼神)と天地誠敬信(天地誠敬信)概念を中心に、東学思想と大巡思想の比較研究を進める。

- 両概念は、それぞれ東学思想と大巡思想において最初に出現する天地関係を代表する用語であり、各思想の核心的相違を反映する
- ○

天地鬼神-東学思想において天外天の出現を

強調天地誠敬信-大巡思想において九天の人

身降世を強調

両思想はともに伝統的な東洋思想の陰陽・天地概念を超え、超越天の存在を重視し、このような観点が韓国宗教思想の独特な特性を形成する。

東学思想の天地鬼神

東学思想において天地鬼神(天地鬼神)は、超越天(超越天)の陰陽理致によって作られた天地を意味する。

天外天(天外天)と鬼神の意味

東学思想において「鬼神」は神明を意味せず、天地を作った超越的存在である天外天を指す

氮化作用(氣化作用)

天地鬼神は、超越天の至気(至氣)が変化して現実世界を形成する
気化作用を強調

「天地亦是(天地亦是)鬼神(鬼神)であり、鬼神亦是(鬼神亦是)陰陽(陰陽)であることをかくも知らなかったなら、經典(経典) 經傳(経伝)を調べても何になろうか、道(道)と徳(徳)を知らざれば賢人君子(賢人君子)いかに知らん」

- 『龍潭遺詞』、「道德歌」

東学思想は性理学の天地概念を超え、超越天を強調することで近代的轉機を用意したが、神明概念の不在により成功的な近代性には到達しなかった。

性理学:天地が鬼神であるとは陰陽作用の実体的説明 東

学思想:天地が鬼神であるとは超越天の気化作用を意味

由神戶会が神戸会へ、と登屏できたか、一歩阻田が友方

大巡思想の天地誠敬信

大巡思想では、九天の人身降世と神明の誠敬信によって天地が運行されると見る。

「生(生)と寿命(壽命)と福祿(福祿)は天地(天地)の恩恵(恩恵)であるがゆえに、誠(誠)・敬(敬)・信(信)をもって天地(天地)報恩(報恩)の大義(大義)を立て人道(人道)を尽くし」

-大巡真理会要覧「訓誨」

大巡思想の特徴天地を鬼神と表現した東学思想に対し、大巡思想は天地を誠敬信として表現する。

大巡思想において人間の生と寿命と福祿は、天地を運行する諸神明の誠敬信(誠敬信)によって施される恩恵であるため、人間もまた天地に倣い誠敬信をもって報恩しなければならない。

概念	意味	大巡思想的特徴
三要体	誠(誠)・敬(敬)・信(信)	大巡真理会の信条の核心
三角構図	九天-神明-人間	誠(誠)概念の実践的意味

両思想の天地関係の比較分析

東学思想と大巡思想はいずれも超越天を強調するが、その解釈と適用において明確な相違を示す

比較項目	東学思想	大巡思想
核心概念	天地鬼神(天地鬼神) 超越天の出現の強調	天地誠敬信(天地誠敬信) 九天の人身降世の強調
鬼神概念	「鬼神」は超越天(天外天)を意味 神明概念の欠如	天地神明とその誠敬信を強調 神明概念を積極的に受容
西洋に対する認識	「東学」という名称に見るように西学と対立、西洋への対抗的性格	"대순"이란 용어에서 보듯 포용적 입장 서양 근대성의 동양적 기원 제시
天地解釈	천지는 초월천의 기화작용(氣化作用) 성리학의 음양 작용을 넘어선 해석	天地は神明の誠敬信によって運行 される九天、神明、人間の三角 構図
限界点	神明概念の不在により完全な近代性の達成に失敗	神明概念を受容し体系を補完発展

* 両思想はともに既存の性理学を超える近代的思惟を志向したが、その方式と強調点において相違を示す